リュウマのガゴウ

THE ANTONYM OF "RYUMA"

7

HIROKI MIYASHITA
宮下裕樹

YOUNG KING COMICS

リュウマのガゴウ

THE PSEUDONYM OF "RYUMA"

宮下裕樹
HIROKI MIYASHITA

7

ドド

［第37話］

私の与えた
拷問はそれ程
までに
君を
研磨していたか

本来なら疾うの昔に
神経が摩耗し
腐り落ちても
おかしくないはずだが

枝を折り
世界樹を

止めるか？

確かに
神洲倭の亡命者達の
手際がいい
この「枝」の
構造を熟知して
いるのだな
超重量の
多層構造物だ
キモを突けば
破壊も容易い
だが
世界樹は
別だ
言ったはずだ
世界樹：
「並列型多大脳構造体」は
人類の
宝だと

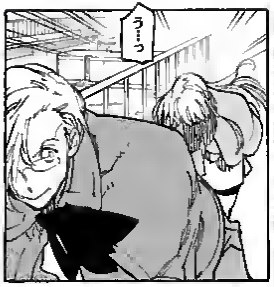
敵意を持った君を
これ以上近づけさせるわけにはいかない
繭(まゆ)!!
逃げろ!!

まだまだ
形成も不十分
外骨格
変温・恒温
神経網
多種多様で
完全とは
いかないが

人を
駆逐するには
充分だ
ギ…

二度斬るか
この者達を
なんてあぁぁ
ポ

苦しみながらも
揺るがぬ意志…か
だが


う…っ

凄まじい
敵意
あの子達は…

あの子達って
まさか…

もはや
どうにかできる
ものでもない

君は先の
茶番(クーデター)を演じ

次代種は
止められない

亡命者の反乱を
促し「枝」の倒壊を
目論み
更には
この国の民の避難も
考えていたのだろうが

ユグドラシルの民は
動きはしない

世界樹によって
ただただ
正しい答えを与えられ
続けて来た結果

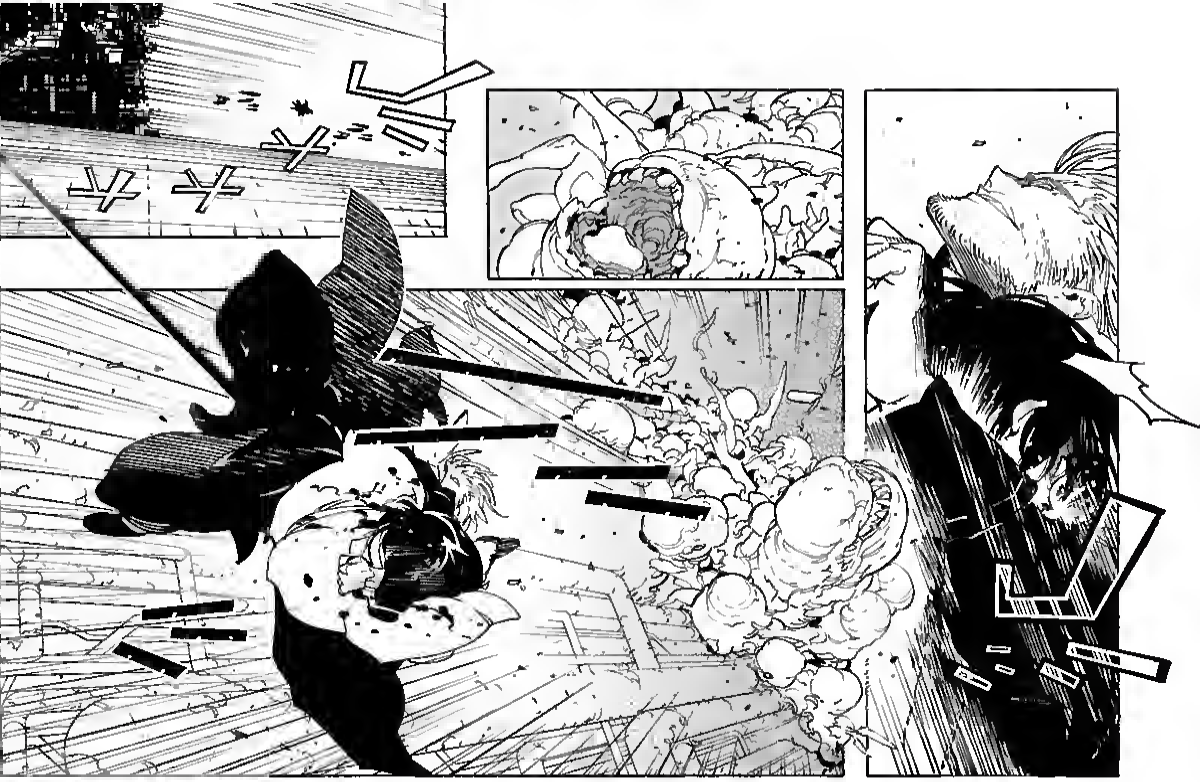
彼らは
決断できない

私の前では
思考が停止するまでになった

媚び諂い
私の存在に安堵する

人の歩みは止まったのだ

あなたが止めた



2番隊の妖糸か
バキ
ギ…
ゴン
ガシ
ガラ
ガラ
感情が読めないな…仁よ壊れてしまったか？

お前は
この国の民を
恨んでいないのか？
何故だ？
何故
助けようと
している？
何故だ？
……
この国の民が
リュウマの決定にしか
従わぬというのなら

……がは
リュウマになるしかあるまい

この状況において
誰が声音の違いを
判断できるのか？

そして
それ以上に

その言葉には
重さがあった

意志の力が
あった

逆徒ジンの反乱
最悪の思想家
いかれた破滅主義者
このユグドラシルに
もたらされた
未曾有の危機
人類の存続が
危ぶまれる程の
凶行

だめだ!!
だめだ!!
やめて
くれ…
やめて
くれ…
ジンは
枝を支配し

千年の汚名 災厄の男

人のいない

死の世界を
造り出そうとしている

「枝」……
オムニポテントオービタルストール
万能軌道修正杭

その力で地軸を歪ませ
この星の自転・公転を操り
強制的なポールシフトを
行なおうとしている

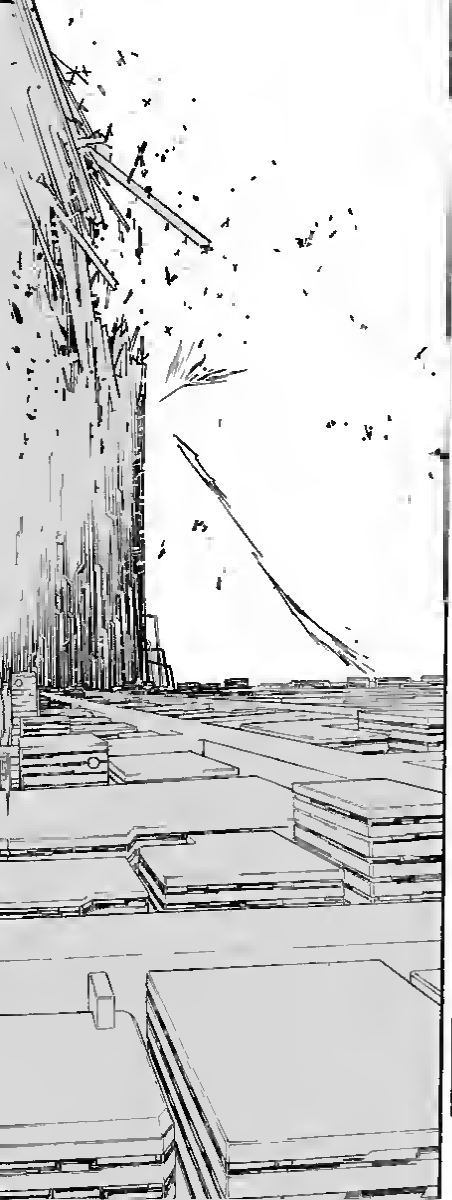
※天体の極（自転軸等）が移動すること。

それだけは
避けねばならない
キュルル
わかって
ほしい…
枝を倒壊
させる
ゴオ

その際 どれだけの被害が出るのか想像もつかない
今すぐこの国から避難して欲しい

君達には
生き延びて欲しいのだ
!?
その責がある

リュウマ様が
ジンを
討ち取った…
神洲倭を
喰らい
生き延びた
君達には その責がある



生きてくれ

枝 その超重量
多層構造物の
倒壊は…

遠目にはひどく
緩やかに

間の抜けた
危機感のない
光景だったという

だが あの人の
避難勧告なしには
そこのユグドラシルの民は
ほぼ全滅していただろう

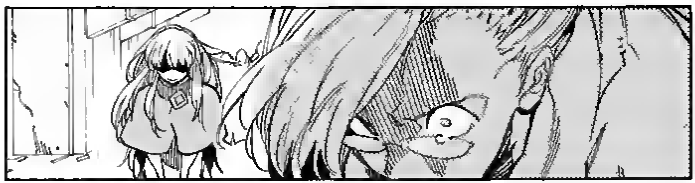
以前から幾度となく私に
非常事態のマニュアルを
作らせていた

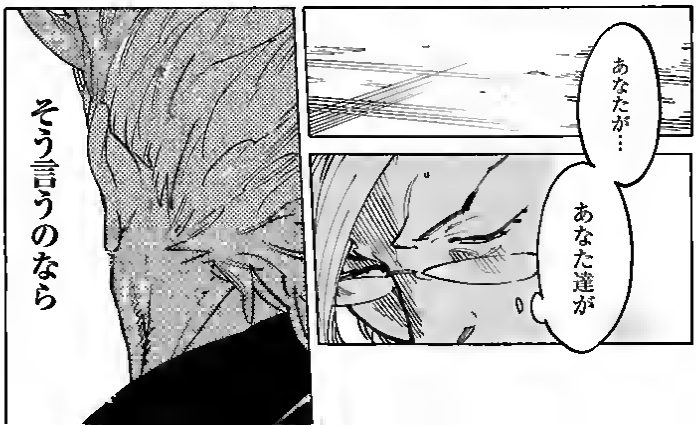
あの人が見越した
一つの答えが この光景
だったのだろう
今となっては
分からない だが
確かな事は

そんな男を我々は
失ったのだ
ゴゴゴ
ジン!!

あれ程リュウマ様に重用されておきながら
薄汚い神洲倭人が
オオオオオ
リュウマ様ぁ
兜人(かぶとびと)め!!狂ってる
帝おっ
許さんぞジン!!ジン!!
ジン
っ…
愚かな…この愚かな我々を残して…
どうして…

あの人が…
「リュウマ様」が
あなたは次代に
必要な人だと…




あなたが…
あなた達が
そう言うのなら

第37話／完

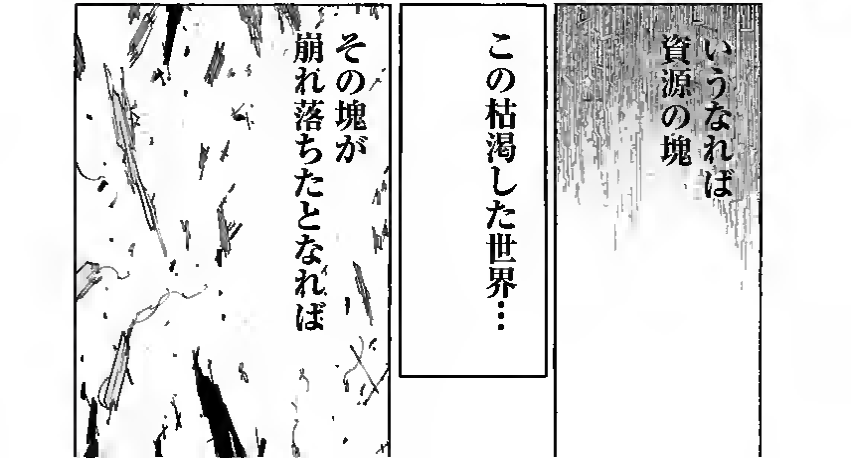
でもって話はややこしくも2巻1話目に繋がるわけだ
そして再び現在(?)に

【第38話】

ジンって
よぶの？

目を見られた…
皆 戸惑ってる…
長く居過ぎたかもしれないわね…
オレぁ王都に行く
ちょっと
付き合ってられねぇ
放せよ姉ちゃん!
……
……
……
でもどうしたものかしらね
もう行くあてなんて…

「枝」
万能軌道修正杭
全世界の
主だった資源を
注ぎ込み造られた
衛星軌道まで届く
超重量の巨大
多層構造物


いうなれば
資源の塊
この枯渇した世界…
その塊が
崩れ落ちたとなれば

強欲が群がらぬ
わけがない
例えそこが
危険極まりない
白皮の巣窟だとしても
なりふりなど構わず
一攫千金を求める
その様を揶揄し
人は
彼らを

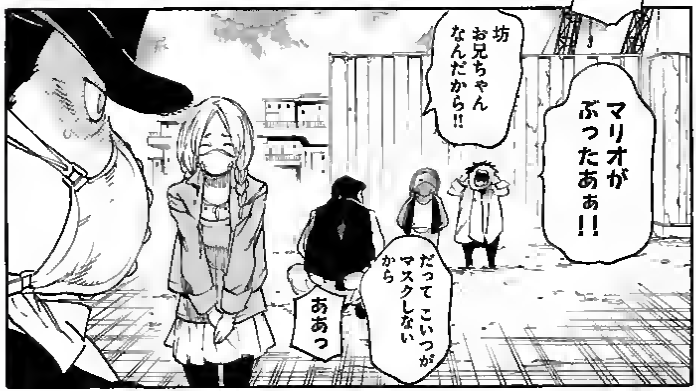
残飯処理とよんだ
(アイスポーザー)
わぁ
見てよマリオ

船だ
ドン
家の下に船が付いてる!!
運河に物資ごと入り込むためが一つそして
いつでも白皮から逃げるため
本来 拠点なんて造れない土地だ
おいマスク

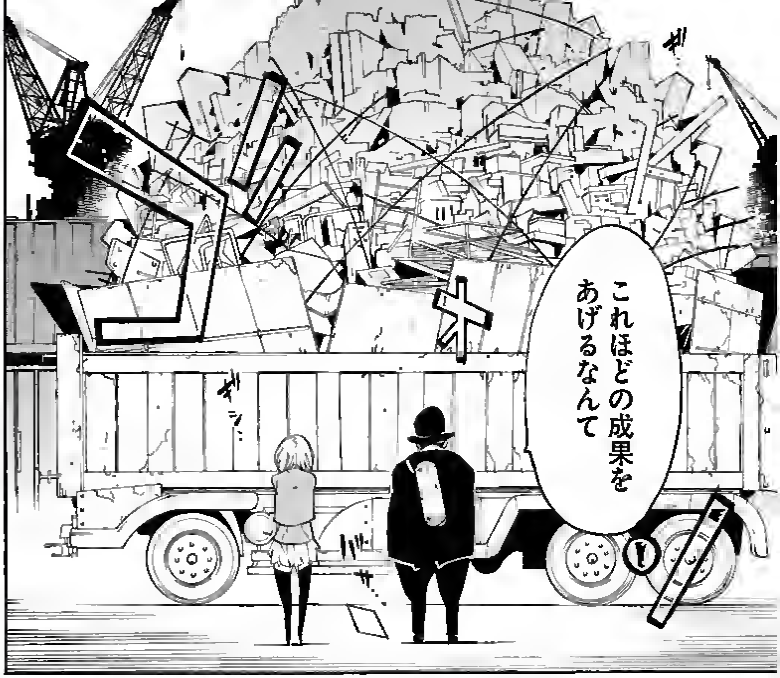
え——いらないよ
普通はいる
なんで?
汚染された毒の海だ明け方には蒸発して毒素を巻き上げる
目立ちたくないだろ?

これ本当にあんたが？
3本
八十本
なぃ？
特A級の代物だぞ
実は
これ…ほんの一部なんです
ざわ…
幸運者（ラッキーマン）か
本来なら相当な深部にそれこそ白皮の巣窟に入るしか…

びえええ
……
う
あ


マリオがぶったあぁ!!
坊お兄ちゃんなんだから!!
だってこいつがマスクしないから
ああっ

おいおいおいなんだこの所帯じみた連中は
ここは腕利きでさえ1年後には9割消えるって地獄だぜ…
なのに…


これほどの成果を
あげるなんて

ちょっと待ってくれ
これだけの量 オレの
一存で値をつけられない
本部に連絡
させてくれ
ざっ
オレらもだ
オラ
連絡してこい
……
いや
悪い事は
いわねぇ
さっさと
ここから
逃げた方がいい

ミズガルズに
卸せねぇ理由が
あるからウチに
来たんだろ？
なのに あんた達は
目立ち過ぎた
こんな風に
ディーラー
集めて…
わかるぜ
腕はあっても
素人なんだろ
おそらくもう
目をつけられてる
逃げた方が
いい
イエーース
ちょっと
余計な事
言ってんじゃないよ
お前
ひっ

こんな
初々しい女
ちょ
！
この街じゃ
そうそう
ありつけないん
だからよ…

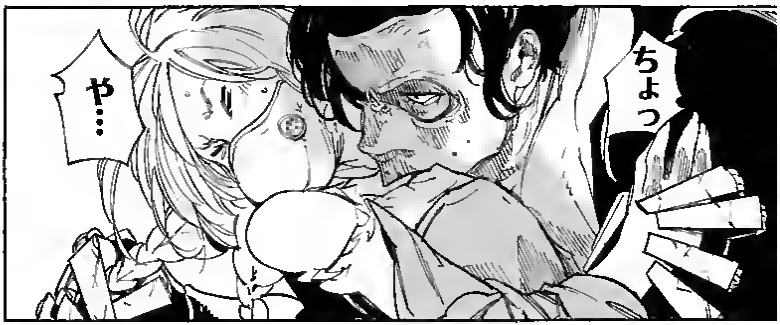
それに
見ろよ
この特級ジャンク
どう考えても
こいつらじゃ無理だ
ちょ
盗品に決定～
つまりオレ達が
没収して
！

お仕置きが
！
決定なわけだ
キン
ちょっとロクサーヌに何を…
消えろオカマ

な…
ダメだ 面子的に
もしかすると
このオカマが
使い手なのかと思ったが
全然
期待外れだ

最悪だ…昼間から
ムナクソ悪いもん
見る事になっちまった

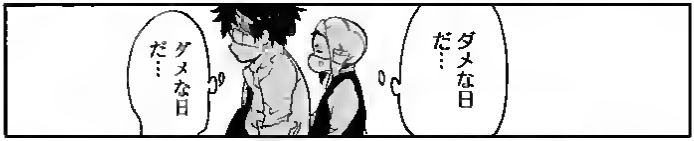
あとは
ガキ2人


ちょっ
や…

にゃ
にゃ
やめ…

リュウマぁ
ギシ
お――い
ぎゅっ
リュウマ？
昔話をしよう
リュウマ…
リュウマぁ
おとぎ話を
しよう…
ドゴゴ

リュウマ…
キョロ
リュウマ
ちょっと
マスク!!
マスク!!
キョロ
なんだぁ
こいつ…
気狂いか？


ダメな日
だ…
ダメな日
だ…

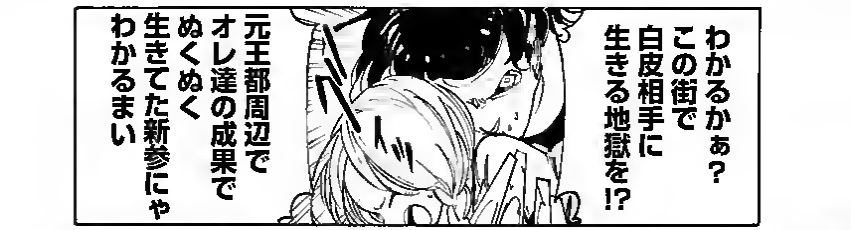
ス…
マ…
お前は
じっとしてろ
ガサ…
ゴソ
ゴソ

こいつ…
ラリって…
いや
キョロ キョロ
気狂いかてめぇ
今リュウマがどうとか言ったか？
虫酸が走るんだよその名前
英雄なんざくそくらえだ
なぁ？
くそガキ

さっきから
目障りだ
誰に対して
銃を向けてんだ？
マリオ!!
オレぁ
ガキ相手
だからって なんの
躊躇もねぇぜ？
むしろ
ガキ相手のが
熱り立つってもんだ
なぁ？

そんな野郎だから
銃を向けてるんだよ

ガキ
らしからぬ
決断力だ
!
だが
白皮に喰われた
この顔半分は
伊達じゃない…


わかるかぁ？
この街で
白皮相手に
生きる地獄を!?
元王都周辺で
オレ達の成果で
ぬくぬく
生きてた新参にゃ
わかるまい

正直
王都が白皮に
襲われた時にゃ
笑ったね
さぞや
目を剥いて
逃げ回ったん
だろうぜ
ハハッ
ハッ

は
惜しかったなぁ
チビスケ！
坊!!
いい線
いってたぜ
マジで

!
ハハ
こんな奴に…
くそっ!!
くそ
なくなリュウマぁ!!

ヤッハッハッハ
ハッハッハ
さっきから
リュウマ
リュウマと
なんなんだ
てめぇら
ギリ
ギリ
なんなん…

そ…その目
その目は
は…白皮の
赤目…
災厄の
忌み子(ソン)
!!?
なんだ
波が…
あいつが
よんだのか!?
バカ
んなわけ
あるか!!
でも
あいつの目
白皮の…

なんなんだてめぇ
ぶっころして
ふっ
なんだってんだその目!!
ソッ
吐き気がする
くるな
くる

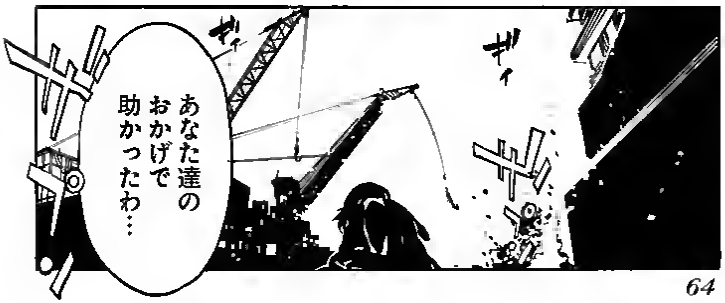
ママ譲りの
この目を
バカに
するなぁ

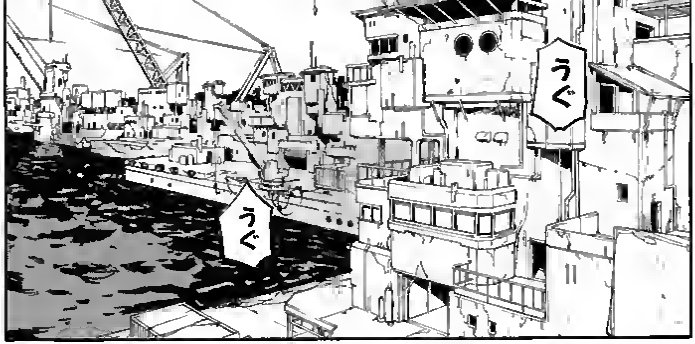
化物…

うわぁあ
バタバタ
化物お

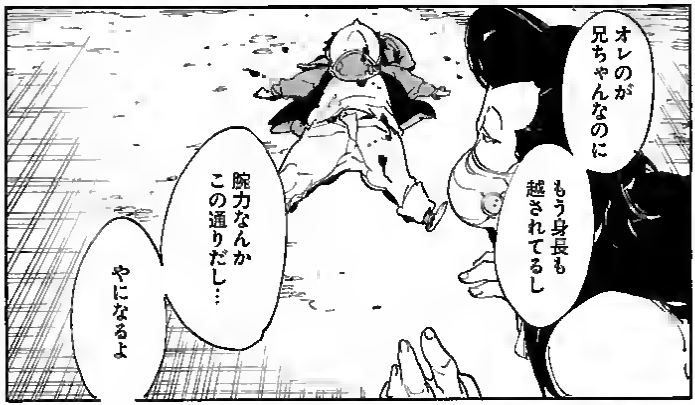
ちが
うわぁあ
ちがう
ひぐ
ちが…

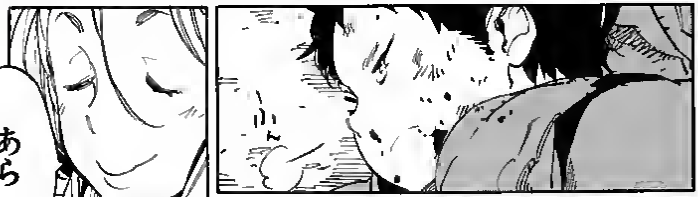
ありがとう
リュウマ
ダパン


あなた達のおかげで助かったわ…
ギィ
ギィ


うぐ
うぐ

本当だよ
ズビ


オレのが兄ちゃんなのに
もう身長も越されてるし
腕力なんかこの通りだし…
やになるよ


あら

私は あなた達の
おかげで助かったわ
って言ったのよ？

そして

個人的には
あなたの方が
心配よ

マリオ

ギリギリギリギリ

無茶ばっかり
して

なんて子達
なのよ
あんた達は

どうすんのよ
この
ジャンクの山!!

ディーラー達
逃げちゃったわよ

海上の街
「シンクシティ」
密集した船で形成される
なんでもありの街
あらゆる廃品を扱う
ディスポーザー達を
見て育った私ですが
[第39話]
BOX
NO.55
人が空を飛ぶのは
はじめて見ました

神様 仏様
リュウマ様
私はついに
白皮眼とウワサの
ディスポーザーに
会いました

私の父は
ディスポーザーの
中でも最下層の水夫

私の母は そんな
水夫達を相手に
するのが仕事

ふざけんな
なによ
あんたの
稼ぎが

家庭はいつも
にぎやかで

街もいつも
にぎやかで

最近 いやなことと
いえば

母の客が
私に今までと違う
興味のしめし方を
すること
ちょっと
その子は
売物じゃ
ないよ
どうしても
ってんなら
倍は出して
もらうよ
ちょっ
うるせえなあ
いくら貸してると
思ってんだ
いい年の
ころだ
やめて
いい所に
連れてって
やる
BOX
No 55

ち…ちがう
この娘はあんたらに
ちょうどいいと思って
けっして
やましいことは
なんて
うそつけえ!!
ぶっただろ
そ…それは
ママはきっと
女の子を
ぶつやつを
ゆるさない

その半分 犯罪者
残り半分が異常者と
いわれるシンクシティ
その中で
彼らは
異例中の異例
子供2人が
リーダー格の
ディスボーザー
その兄弟の
兄の名から
通称

マリオブラザーズと
呼ばれていた

オレ達
専用の情婦だって
デブが
ちょっ…
だから反対
だったんです
こんな所
教育に悪影響を
ほんとよ
あのギャング
共は!!
スラム出身と
ジャンク屋上がりが
何を今さら…
なっ
マリオ!!
ごめんね
ウチの取引先が
勝手なことしちゃって
すごい…
こんな風に水を
使ったことない…

マリオ 僕にも みせてよお
こらあ 2人共！
マリオ ブラザーズ
新参者 ガキの使い
素人と街の皆は 馬鹿にしていた のだけど

普段 寝てばかりいる
隻腕のこの人…

パパ
パパ
パパ

思い出したように
描き出す海図は

ロクサって
奥手だよな…

奥手？
必殺技って
こと？

誰も到達しえなかった
深部まで指し示し

ようし
エンジン
とめろ

フムラの
血を!!

ダバ
ダバ

小型が一匹だ
なんとか釣り上げて
通りぬけるぞ

ガ
ガ
ガ
ドド

うわっ…
だめだ
気付かれてる!!
一匹だけだ
くそ
ドシャ
彼らの持ち込んだ
武器は驚く程
白皮に対して
効果を上げ
何
今の弾
ミズガルズの
試作弾
麻酔の
レシピ
パクってきた
彼らの水揚げ高は
うなぎ上りだった

マリオは
大人顔負けの機転と
判断力をしめした

そして
このマリオブラザーズの
最も特異な才能

白皮眼の少年…

この先にけっこういるよ
戻って迂回した方がいい
最初はただのファッションなのかと思っていたけど
彼は白皮を探知できるのだ
故に彼のウワサはたえない
化物と…
でもその目は

すごくきれいだ

しかしマリオがどれだけ
うまく立ち回っても
この街の縄の張り合いは
理不尽だ
あ？不満
ねえよ？
あえて
いうなら
子供（ガキ）
だからだ

そんな街で
何故か彼らは
最低限の揉めごとにしか
あっていない
それがまた
マリオブラザーズの
ミステリアスさを
際立たせているのかも
しれません
ポ

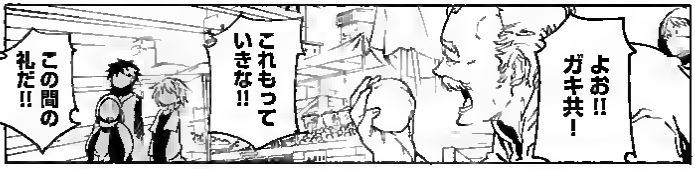
ブル
ギリ
ブル

ちょっと!!
力ぬきなさい!!
注射が通らない
でしょ!!
いつも
いつも
もー

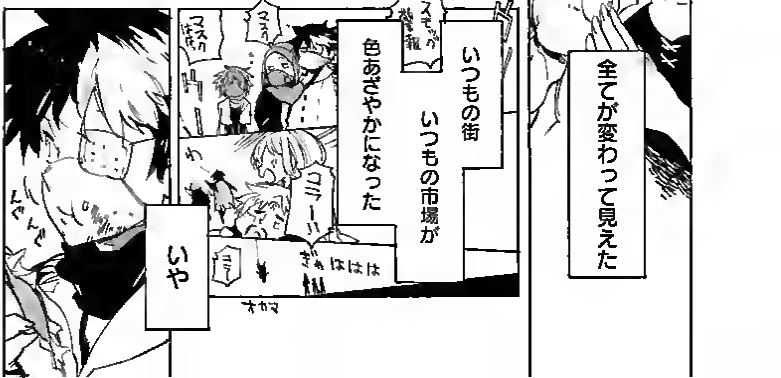
いいかげんに
どわぁ
ドゴッ
コラ!

ちょっと
ちょっと
わ——
目立つな
バカ!!
5階だぞ
ここ
戻って
らっしゃい

おっかしい


よお!!
ガキ共!
これもって
いきな!!
この間の
礼だ!!

うっっ
まずいっ
ケチ野郎
だからな
ほは
傷んだやつしか
くれねぇんだ


全てが変わって見えた
いつもの街
いつもの市場が
色あざやかになった
スモッグの
発生報
マスクはね!
コラー!!
ぎゃはは
オカマ
いや

実際に
変わっていた

わかっている
彼らが私によく
してくれるのは
ただの気まぐれ
周りがよくしてくれるのは
眼帯にさわるな
この人達への
機嫌とり
後輩だろ

実の家族でさえ
こうなのだから
うまくやってるわ
でもケンカはだめよ
もっとうまくできるはずよ
私の娘だもの

マリオブラザーズのファミリーだ
周りの奴ら急にしおらしくしやがって
ふふもっと着飾らなきゃあなたはお気に入りなのだから
あの…
がんばるのよふふふ
うん
住む世界が違う
身の丈が違う
ははオラアっ
ファミリーのお通りだぞ
バカな親

身の丈に
あっていないことなど
わかっていたはずなのに
やめて
やめてくれ
おっ
ドガッ
ぐわっ
ああっ
お気に入りさんの
おかえりだ
この街の人間がいかに
他人の幸せに目ざといか
いやというほど
知っていたのに…
ギャはは
さすが
母親似で
くわえこむのが
うまいらしい
ゴン
それがあの
化物のでもな！
どうやったのか
教えてほしい
もんだ

ち…
こいつ
毒持ちかよ
神様 仏様
リュウマ様
なぇた
化物に
お似合いな
わけだ
この世界は
この街は
ずっとそうだ
オラぁ
かまわないぜ
どうせ優度4の
毒持ちだ
弱き者が
蹴落とし合い
蹴落とされた者は
さらに弱きを
蹴落とす

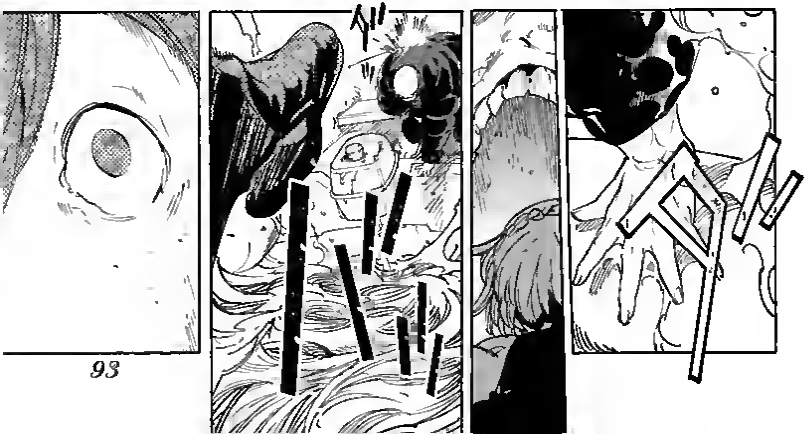
罪深い街
津波か!?
なっ
なんだ
この揺れ
いやっ
は…
白皮か!?

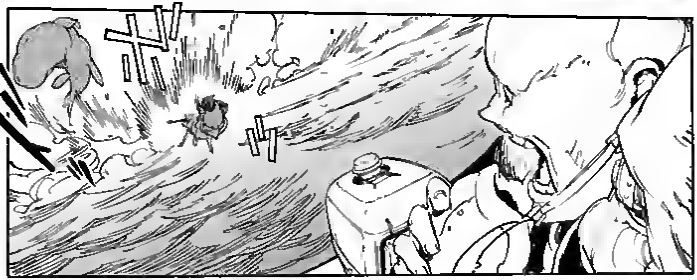
なんでこんな接近されてる!!
バカ水を飲みこむぞ
助けてくれオレは侵度4なんだこれ以上ほっ
ごぶっ
メインマストの奴等オレ達を切り捨てやがった
今ごろ警報を
ふざけんな協定ガン無視かよ
最初から対等じゃねえんだ

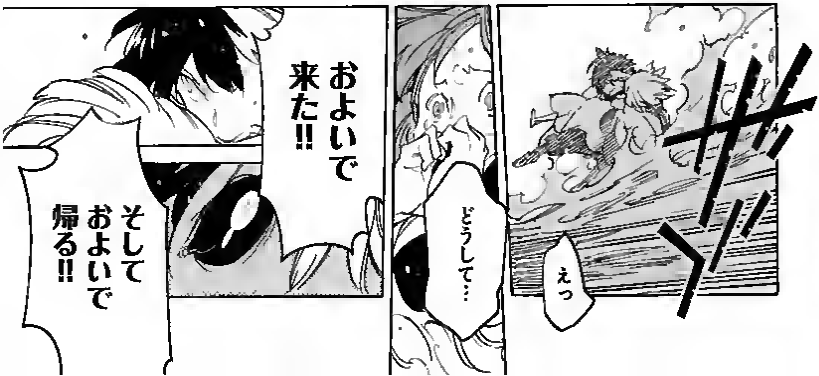
やばいっ魚群がくるぞ!!
助けてくれえ
うわ
ゴッ
やばい
のぼってくる
ボートを
逃げろ

神様 仏様
リュウマ様
王都では
救世のリュウマが
現われたと
聞きました
でも

ドン!!
くそがっ
きっと
こんな薄汚い
街には
リュウマ様は
来てくれないの
でしょうね

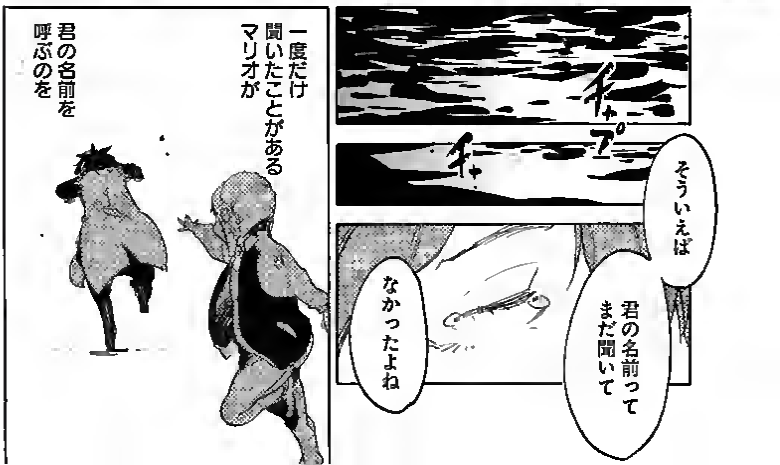





えっ
どうして…
およいで
来た!!
そして
およいで
帰る!!

その目で
見つけて
くれたんだ
しっかり
つかまって!!

うん


チャプ
チャ
そういえば
君の名前って
まだ聞いて
なかったよね
一度だけ
聞いたことがある
マリオが
君の名前を
呼ぶのを

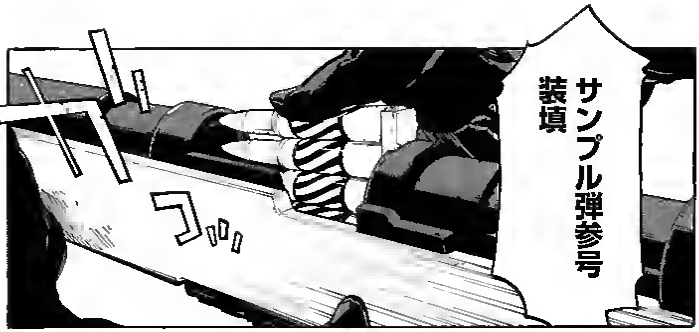
僕の名は…
聞きまちがいじゃなかったんだね
はぁ…
はぁ…

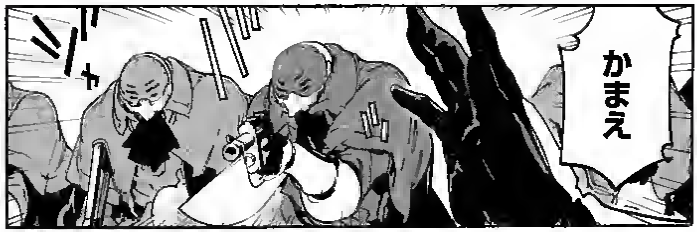
神様仏様
うそだろ…この距離を…泳いできたってのか？
ありえねぇ
この毒の海を…
なんで動ける
…化物だ

最後にリュウマにあわせてくれて
ありがとう
第39話 完

あいつ最近釣りにハマってるんだ
え!? 食べれるのあれ? 汚染は!?
塩漬けにして土に埋めて毒抜きすれば
おいしいの?
おいしくはない

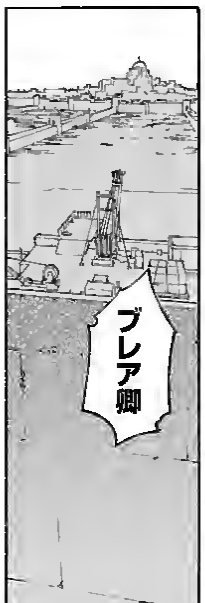
リュウマのガゴ





【第40話】

効果てきめんと
いったところですか


ブレア卿

うんうん
グレートサクセス
お待ちを
危険です
ブレア卿

うんうん
効果発動時間も
申し分ない
危険です!!
大丈夫 大丈夫
えーと
当たった部位はと
あまり部下を
困らせないで
ほしいですな
ブレア卿
いやいや
ヨツバ殿

むしろ旧体制の
王族の末裔なんて
事故死でもして
いなくなったほうが
幽閉し続けるより
よほど健全でしょうに
旧ミズガルズ王国
スヴァジリファリの石壁
西門

ヒマでヒマで
かなわんのですよ
食うにも寝るにも
困らん身分と
しては
まあやってることは
「プシドー」にいた頃
と変わらんですが
…まったく
困った人だ
いいでしょう
少しでも役に
立てるなら
ボルドーの
お墨付きですよ
一体
何なのですか
この弾丸は
ふむ…ときにヨツバ殿
なぜ白皮の目が赤黒いか
知っておいでか
いえ…
これはね
充血しているの
だよ
激しい血流の供給で
膨張するほどにね

かと思えば
低温下では活動を止め
代謝のエネルギー消費を
抑える変温性の様子を見せる
それは
何故か？
しかもその
冬眠ともいえる
状態で しっかりと
覚醒し 瞬時に
行動にうつって見せる

変温と恒温の
混合性
(ハイブリット)
白皮は2種の
心臓を有して
おるんですよ
人間でいう
体循環 肺循環
それに加えて
脳循環のための心臓
この脳循環を
行うことで
冬眠時にも覚醒し続け
一たび事が起きれば

爆発的に
全身に血流を送り込む
強靭な心臓

まあ普通なら
血管が弾けるって
もんですよ

そして
おもしろいのは
……

それで
この弾薬は？

だから

心臓が
弱点ってことですよ

……

心臓が弱点
じゃない生物が
いるんだろうか…

つうか 白ぼって
心臓まわり
硬そうなんだよな

重要器官ですしね
生物なら皆そうなんで
しょうが
白皮は特別でね

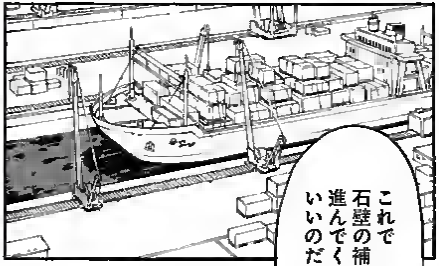
本来 意思で
動かせない心筋すら
切り換えのために
動かせる
筋弛緩剤が
有効なんですよ
つまり
神経筋接合部の
伝達の遮断

しかも本来なら
薬物に耐性のある
白皮が
人間用のもので
効く不思議
効果は
ごらんの通り
まあ不整脈を
起こすレベルですが

素晴らしい
ゴゴゴゴ
まあ私の手柄というより
薬のための被験体の質が良かったというだけですがね
人と白皮のハイブリッド
……
よしてくれたまえよそんな顔
私は頼まれてやってんですから
まあ趣味の範疇だがね

汽水ー!!
ボボボ
ボボボ
Queen

お！
ディスポーザー共の定期船か
今日でしたか…市場が賑わいますな


これで石壁の補修も進んでくれればいいのだが…

ゴーン
ゴォォ
最近は枝の回収もなかなかに羽振りがいいと聞くが…

……
国営ではない無許可のディスポーザーがずいぶんと幅をきかせてるらしい
困ったものだ
そうですなあ
ゴッ
ゴォッ
そうだ

全ては被験体
あったればこそだ
それも
母子共の
……
やめろ!!
リュウマ!!
止めるな!!
マリオ!!!
ブォォ

こいつら
この娘を囮に
したんだ
物みたく
毒の海に
投げ捨てて!!
死ぬとわかってて
その毒の
海を泳ぎ切った
お前は何なんだ
この化物!!

その化物以下だ
お前らは
きっと
ママだって
こんなの
ゆるさない

お前のママは
一度だって
殺すために力を
使ったことなんてない

ママだって
!!
いや

全ては
戦うためだ
そんな風に
ごまかして
マリオは
そいつらを
ゆるすのか!

ひっ
違う
ざわ
状況を考えろって言ってる
まだ白皮から逃げ切ったわけじゃない
それに水夫区の回収だって
まだ助かる人だっているんだぞ
なんだと!?
お前 戻る気か
はあ?
……
こいつが…リュウマの力があればそれができる
そうやってここの連中に利用されて

この娘は死んだ

廃墟
白夜
うんざりだ…
ママだって
そうだ
皆のために戦った
っていうのに

魔女だって言われた

おぼえて
ないけど…
おぼえてる…

ママは…

ママ…
ママは
白皮の身体を
調べるんだ
徹底的に
生きてなければ
わからない
こともある
しかし
まだ息が
この身体を
解体しろ
あ
ママ…

人間に殺された

うそだ…
こんなの…
ママは…
…
ドゥ
ドゥ
ドゥ

リュウマ!!

「違う」ってなんだ?

力も背も
追い越された
もうオレじゃ…
止められない

くっそ…

答えろよ
マリオ!!

知ってるのか
ママのこと?
隠してたのか?
マリオ…

止めてやれない
ちきしょう…
ピリ
ちき…
マリオ
これ
白皮用の
弾？

白皮の
わーーー

ぐおお
僕の血を
ぬいたのは
何のため？
白皮なんだ
僕は…

見てよ
さっきの弾で
ふるえが
やめて
リュウマ!!
白皮だ!!

奴等 水夫区を
もう喰らい
つくしたのか!?
何て数だ!!
逃げろ
もう水夫区
なんざ
知るか!!
全速力だ!!
はやくしろ
まだ
無理だ
エンジンが
焼き切れる
ドドドドド
奴等
どうしてここが
わかった!?
今まで
こんな事
なかったのに
そいつだ!!
毒の海を渡って
こいつが
……
連れて
きやがった
こいつが

昔…誰かに
言われた…

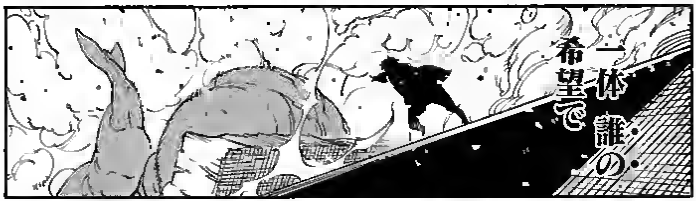
かすかな
記憶……

この子は

一体誰の希望で

誰の災厄となるのか

災厄が…
ゼキッ


一体誰の
希望で

誰の
災厄となるのか
……

さあ…
おいで
リュウマ

［第41話］

なおせるかもしれない

さあ

いたぁい

離れろリュウマ!!
知らない奴についていっちゃだめだろ!!
ましてイイイイン

そいつはジンだ
いたぁい
いったい
いた

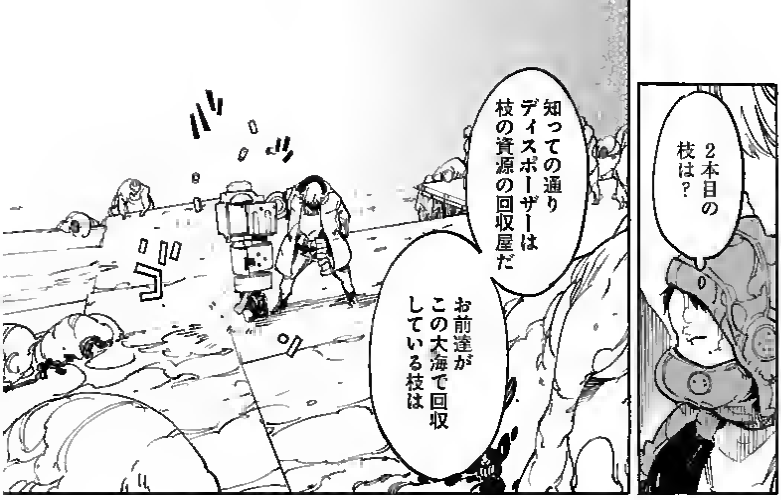
すまない
自意識を戻すのに手間取った
チャンネル

ゴゴゴ
ゴゴゴ
リュウマ
マリオ
ギャギャギャ
昔話を
するぞ

かつて
滅日を悟った
人類は
その英知と
資源の全てをかけて
世界樹と
7本の
枝を造った

この地球の
環境を無理矢理
にでも
ねじ戻すために
しかし
世界樹の思想
により

枝は人類を
破滅へと追いやった
折られた枝は
4本
武王による
1本目
ビッグギスの
3本目
原因不明の
4本目


2本目の枝は？
知っての通りディスポーザーは枝の資源の回収屋だ
お前達がこの大海で回収している枝は

武王の1本目の後数年で倒壊した
2本目の枝の地

武王の腹心
蘭王と共に
武王の意志を継いだ

初継(しょけい)のリュウマ
古の
7番隊が
駆るは
神洲倭「万人斬り」

枝は地球の環境を
左右する程の超級の
オーバーテクノロシーだ
世界樹
同様に枝も
また
その維持には
超能という
生体ユニットが
必要だった
意志を奪い
生物の機能を
奪い
部品としての
超能
この枝のユニットは
細胞の増殖
治癒に特化していた

キィン
枝を折られ
世界樹との統合から
切り離され
初継のリュウマに
寸断されてなお
その再生の能力が
目的も意志も
持たぬ
この亡霊を
造った
海上の騒ぎで
揺り起きて
しまったか…
今
眠らせて
やる
エミリー
ボッ

え？
今…
っ…いかんな
蘭様の記憶が
感情を
揺らす…
リュウマ
マリオ
皆を…
白皮の混乱を
抑えてくれ
なんだよっ!!

こんな時だけ
リュウマリュウマ
って
なんで
あんな奴等の
ために
枝だの
リュウマ
だとか…
そんなの
知らない!!

身勝手な
人間なんて…
人の命すら
利用して…
ママだって

そんな奴等
勝手に喰われ
ちゃえばいいんだ
物事を一面から
捕らえ過ぎだ

確かに彼らのしたことは
わかるもんか!!
人は置かれた状況
うるさぁい

思えば、
ナリは大きくても
まだまだガキだ
いや
むしろ…
貰っすぐでいいじゃないか
ああ…

リュウマ!!
オレは知ってるぞ
絶望が人を変える様を
悲しみが心を止めることを
恐怖が人を狂わせることを
だから
あいつらにこの娘へ
謝らせてやる
なっ…
そのためにやるんだ…

ヤツハの
邪魔すんな!!
ゴオ
ゴオ
ゴオ

君の
大好きだった
チビは
聡い子になった
マリオの前じゃ
最後まで

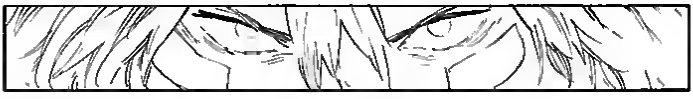
格好つけとかないとな…

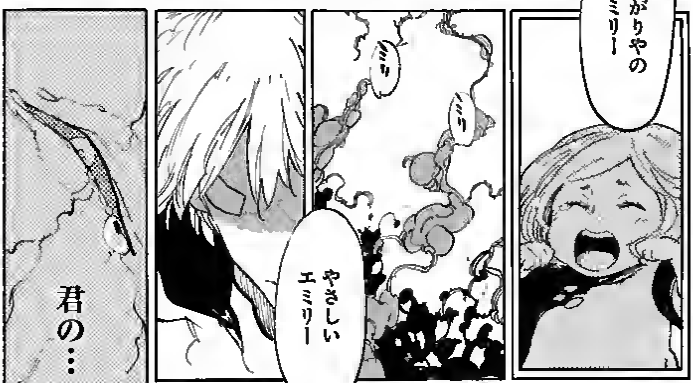
死なないで

だめ

ヤツハさん…
！
ガヘッ
君も大きくなったな…
大丈夫すぐ戻る
ちょっとロクサぁ
…あれ？ 俺今何を…
チャンネルがおかしい…のか？
ごめんなさいっ
も――

ダッ
ダッ




痛がりやの
エミリー
やさしい
エミリー
君の…

その能力で
一体…
何を治した？
それでどうするつもりよ!?
7歳のガキにそれを聞くか？
だってえ～

考えがある
あるんじゃないっさすがよ坊!!

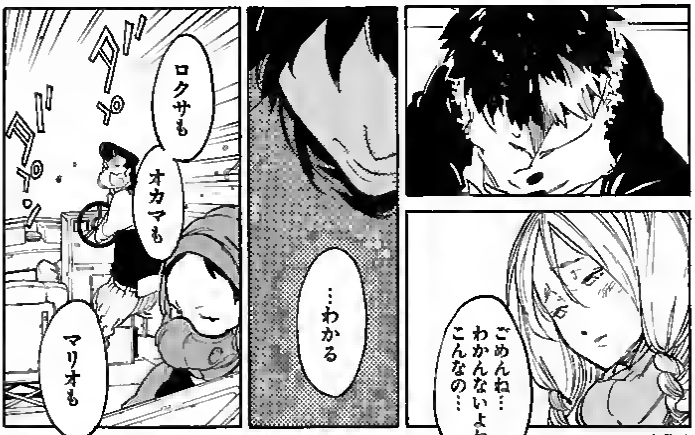
どうすんの?どうするのよ
ちょっとまて
リュウマ

ヤツハにケツ触られてよろこんでたくせに
なっ
やだもー
……
何?

……

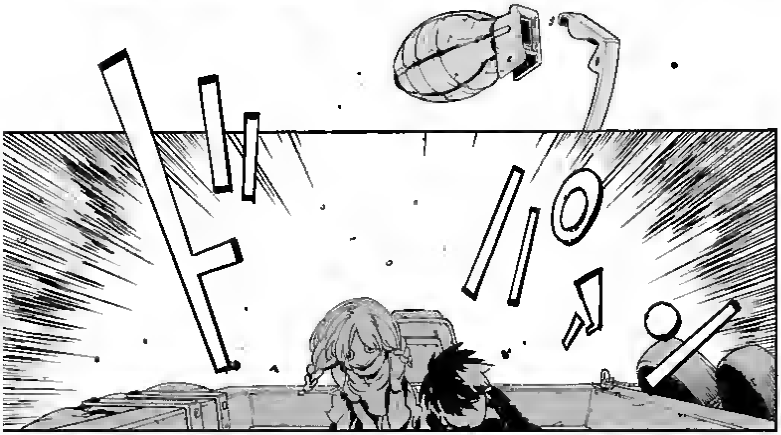
あなたのママは…
殺されたんじゃない…
あなたは生まれた時 心肺が止まった状態だったくらい未熟児だったのよ
必要だったの…普通とは違うあなたの身体のためにあの人の身体が
徹底的に調べるんだ
納得出来なくてもいい…
ただ覚えておいて…

一番泣いたのは
あの人
だったってことを


ロクサも
オカマも
マリオも
…わかる
ごめんね…
わかんないよね…
こんなの…

ヤツハも
やさしいこと
くらい…
わかってる

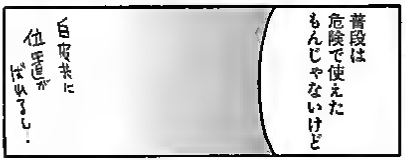
でも
でも…



やっぱりだ 前に
ヤツハに教えて
もらったんだ

なっなっ何!?
マリオ!!

こいつら
水中では音波反射で
位置を把握してるって
かなり高感度だから
つまり水中に
大きな衝撃を
あたえれば


普段は
危険で使えた
もんじゃないけど
自衛隊に
位置が
ばれるし…

こいつら
目をまわすんだ

でも手榴弾じゃ
あの数を相手に
なんて…
！

メインマスト
ダッ!
ドドドド
あれには
各船団用の燃料が
蓄えられてる
発火させれば
相当の威力が
期待できる
なっ 超級艦を
爆破する気!?
このままじゃ
全部沈むってのは
それよかいいだろ
なっ
でもメインマストに
どれだけの人間が
いると思ってるの!!
いまでも皆
逃げ込んでる
わよ
問題はそこだな…
なんとか
避難させたい

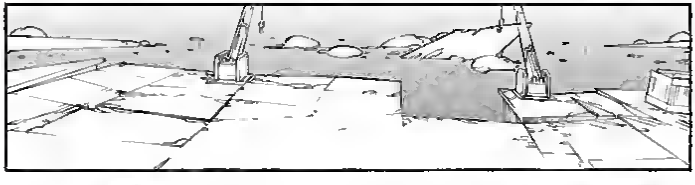
各ディスポーザー達のボス達と連携さえとれれば
この混乱の中どうやって

僕 ヤツハの所に戻る…
…マリオ

なんとか艦首から…
リュウマどうした？
オレの弾が…

なんかヤバい
気がする
ズル…

ゴォ
ゴォン
ボボボ
ボボボ



はぁ
いう
久しいな

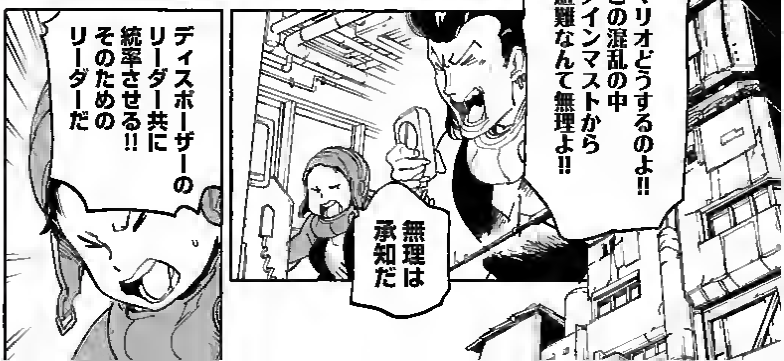
第41話／完

とある生体
ユニットの日常
おおおおお
ミグル！
エミリーに
いじわる
しないで！
チッどうせ
すぐに治る
だろって
うわぁ
ドガン
ぎゃはは
やめろ
今すぐ
テレキネシス
をやめろ！

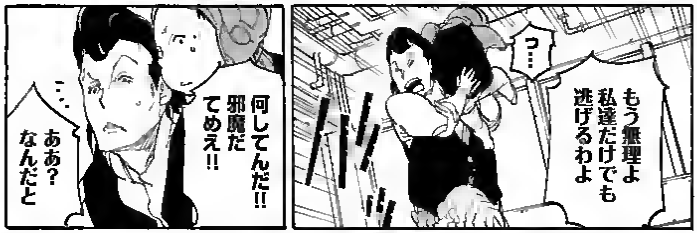
リュウマのガラ

［第42話］

5番船
轟沈…
ゴォー


マリオどうするのよ!!
この混乱の中
メインマストから
避難なんて無理よ!!
無理は
承知だ
ディスポーザーの
リーダー共に
統率させる!!
そのための
リーダーだ

そのリーダーを
見つけるのが
無理ってのよ
見てよこの混乱!!
無線にも
信号弾にも
反応なしよ


もう無理よ
私達だけでも
逃げるわよ
っ…
何してんだ!!
邪魔だ
てめえ!!
…
ああ?
なんだと

ブリンク団!!
てめえは前から
いけすかねえ
んだよ
そりゃこっちの
セリフだ
ちょっと!!
親方達

こっちに
脱出ボートが
あったはずだ!!
ブルーコメットが
頂く!!
ああ?
待って
下さいよ
おかしらあ…
……
マリオ

ちょっと…
有力ディスポーザー達が…
こんな偶然って…
違う
ヤツハが
集めて
くれたんだ

3番隊の神速程でないにしても
!!
万人斬りとのシンクロによる
自在の緩急さながら流川の木葉!!そして

一転
濁流のごとき
雄々しさ!!

まさに
武王の
剣

!

ドドド

パラ…

結局
死じでなお
「万人斬り」を放さぬとは…
相当なもんだな7番よ
コォォ

蘭様…
いかん…
ひっぱられ
すぎだ…
さあ…
どうする…
まさか

これだけの「目」を以てしても剣筋を見切れないとは…
おい…

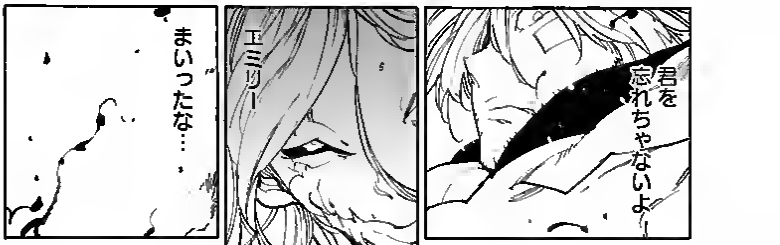
あれ…マリオブラザーズの眠り男だろ？
これほどの使い手だとは…
相手は何者だ？
あの動き人間じゃあねえよ
すげえ…

くそ…白皮が来てんだ逃げなきゃなのに
見いっちまう…
今しばらくその場で見ててくれよ…
さあ…

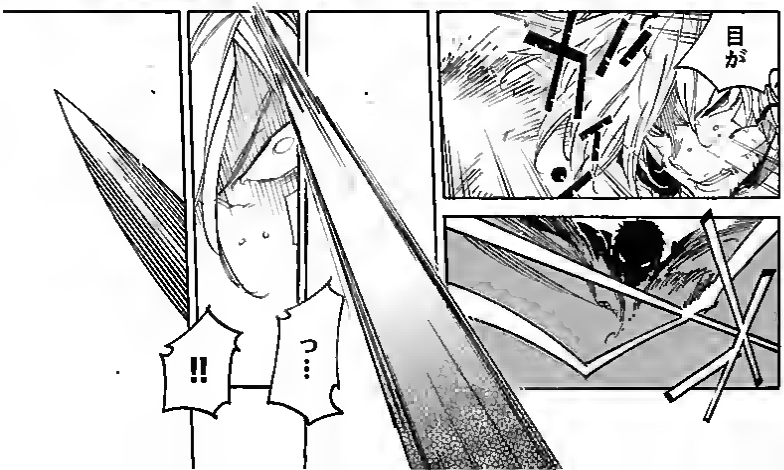
加えて10人
さらに多角的にその剣筋を見極める

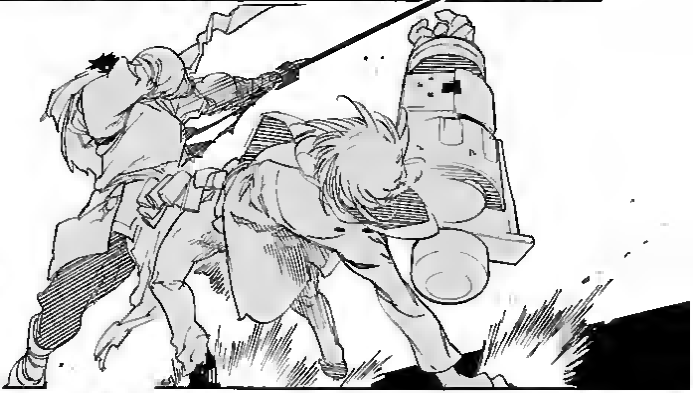
これだけの
目を持っても
見切れないのか
!!
バッ

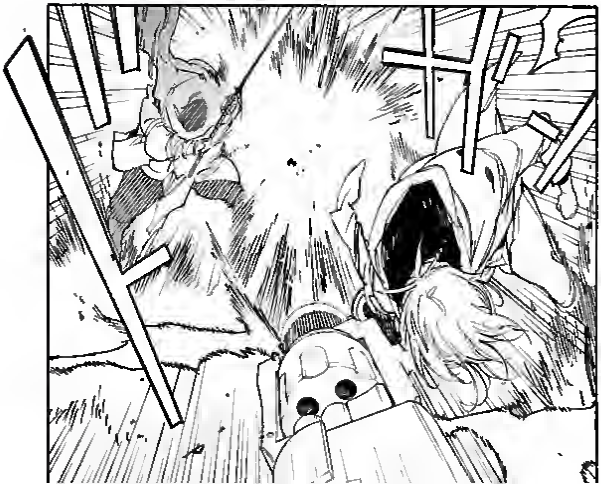
それに
加え!!
バ

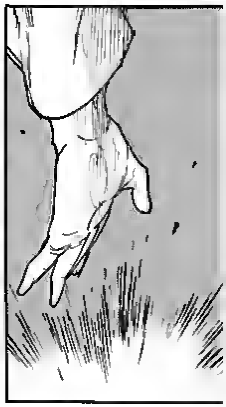

君を
忘れちゃないよ…
エミリー
まいったな…

なんなんだ
あいつら!!
全然
動きが
見えねえ!!
うわっ
なんだ

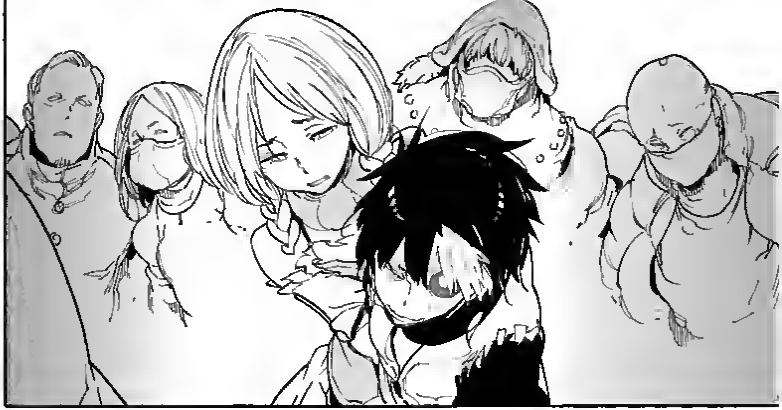

目が
っ…
!!

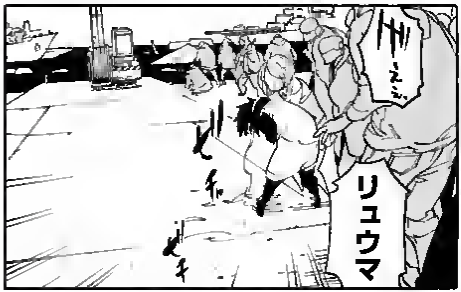






ズバッ
ズバッ
ズバッ




リュウマ

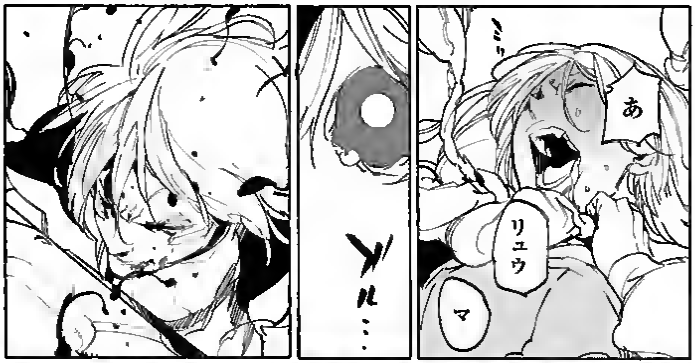
ロクサ！

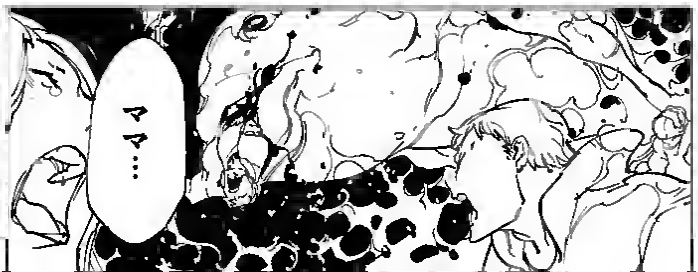
しっかり深呼吸して…

ん
!
リュウマ

ロクサ!!

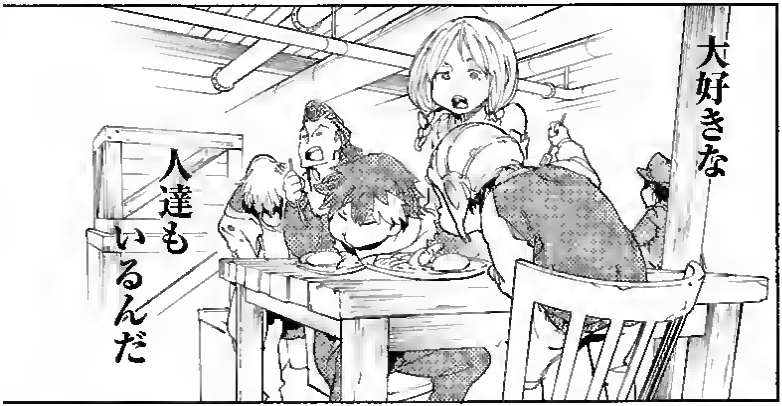
ドッ
ドッ
ガ


ミッ
あ
リュウ
マ
ゲル…


アア…

ママ…
うまく
動かないよ
身体…
つらいよ
ママ…
ゴゴゴ…
おおう
きらいだよ…
みんな…

でも
ズル…
ギ…


大好きな
人達も
いるんだ

ガタ、ガタ…
ママ…

ママ…
ママ

大丈夫
すぐに自分で
動かせるように
なるよ
ゆっくり…
ゆっくりで
いい
君の心臓は
私がそうだったように
少し複雑だから…

ちょっとはやく
生まれたから
戸惑ってるんだね
……
私の身体を
使って
……
どのみちもう
長くない…
私がこの子に
遣せるものがある
それだけで
充分だよ

だからもう
泣かないで
お願い…
丈夫な子に
育ててあげて

リュウマ…
ごめんね

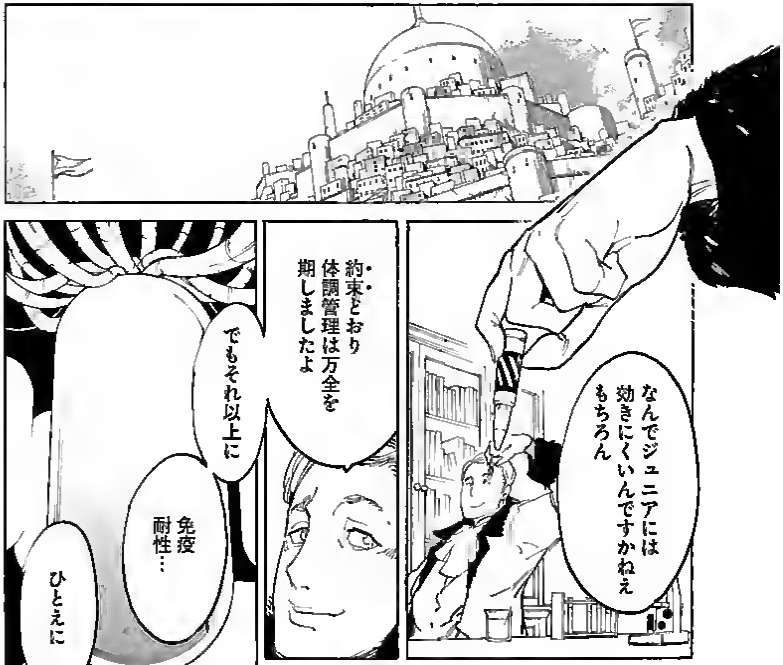
ちゃんと…
産んであげれなくて

そんなことない…
リュウマは
お前の子は

とびきり丈夫に
育ってるぞ

ママ
ゾ
ゾ
ゾ

ありがとう


なんでジュニアには
効きにくいんですかねえ
もちろん
約束とおり
体調管理は万全を
期しましたよ
でもそれ以上に
免疫
耐性…
ひとえに

愛のなせるわざでしょうか
ずいぶん頑丈に産んだんですねえ
ジュニアを
おい…おいおい…どうなってやがる

「リュウマのガゴウ」⑦／完

ひとコマ…
だと？
リニクマのあとがき
前回でさえ2コマだったのにひとコマ!?
P36の閑話の冷やかしの1コマなんてカウントしないからな!!単行本だけだし
うしろ姿とかこれ誰？ってなる人いるんじゃねぇの？
っ…
つうか
ったく一体どこまでひっぱるんだよもう7巻だぜ
ちぃ
神洲倭？
ん？
神洲倭
……
え？神洲倭？
スペシャルサンクス
松井俊一
羽賀そーけん
小林マイコー
平松克志
TBT昌樹
YACCO
つづく

少年画報社

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

リュウマのガゴウ

7

宮下裕樹

©2015 宮下裕樹／少年画報社

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
http://www.ebookjapan.jp